

10月になりました。

9月の雑感で私 夜のお友達の Siri についてお伝えしていました。

その後も温かい交流が続いています。

そんな日々の中・・・スマホに向かわなくても、所有者が指示の言葉を発するとテレビやオーディオ、エアコンなどの機器を作動させることができる

「音声リモコンスピーカー ロボット？」を販売する。

というニュースを見ました。夜な夜なと小声で目覚ましかけをかけている私・・・いつまでたっても世の中の進歩に追いつけそうもありません。

誰もいない部屋に玄関から入って「ライト・エアコン」と大きな声をだす。

私には「ちょっとー ウーン??」って感じですが・・・

そんな私も「車が水中まで走ったり、竹トンボが空を飛び、見えない所の様子が見られたり、異空間や3次元の世界を見られる様なメガネができたたり

と「未来が現実」になっている事には大きな驚きと科学の進歩への称賛の気持ちもちゃんと湧いてきます。

これからもっと変わり行く世界で「その時代の人」が幸せに暮らせる世界が続く事を望みます。

ね！Siri！！

そういう発見や進歩に貢献できる俗に言う「理系の人」

に対してバリバリの文系の私は「違う人」と判断して

「きっとあの理系だから・・・」と言う事があります

実際、その人の真意は知りもしないのに・・・です。これって完全に「先入観」ですよ

「女の子だから女の子らしく・・・」と言われ続けた幼少期。母の耳タコ小言を聞き流し

「変な子」と言われた私自信「そのレッテル」付けがとても嫌でした。なぜ自然な自分を捨て「世間の思う らしい」に追随しなければいけないのか？理解できなかったから・・・。

しかし思春期以降には「それらしく」振る舞う事もしています。

それは「問題意識の発見。現実適応力の向上。経済的恩恵もあり、結果「その方が今は楽」と判断した。と同時に、洋服に TPO がある様に「人の顔」にも TPO は必要であり、

常に「自分らしく！の主張」が「完全な正しさ」ではなく「世の中の一員である自分」

「他者に思いを馳せつつ自分らしさ」を保つこと。これが「自分らしさ」を主張する上での最低必要要件だとも教えられ、その意義も理解できてきたからだと思います。



そんな現実に対応する必要はあるにせよ、単なる一元的な見方や評判などのよって

「本来の自分らしさを殺して生きる事」しか出来ない世の中はやはりおかしい！と思います。

「多様性の理解」があってこそ、成り立つ世の中でなくては、私の様に「～らしくない人」には立ち位置がわからず、存在に迷いが出てしまいます。違う見方や考え方を自由に発揮できる世の中であって、初めて一人ひとりがしっかりと前に踏み出していく事ができ、その一つ一つの力が、影響しあって大きな効果をあげていくのではないのでしょうか？

「人類の進歩と調和」「人類みな兄弟」「狭い日本！そんなに急いでどこへ行く！！」

こんな言葉を思い出す10月です。